

市民の知る権利に応える

The Gallery 傍聴席

2003（平成15）年2月10日（月） 発行・相模原市議会をよくする会

「相模原市議会をよくする会」は不偏不党、中立の立場を守る会です。

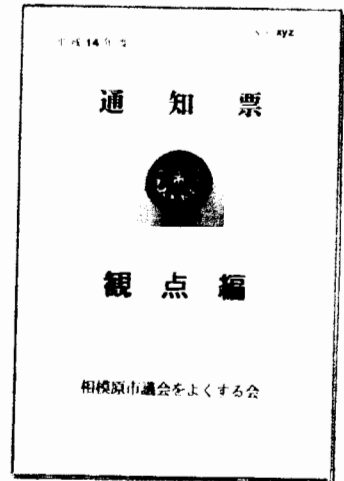
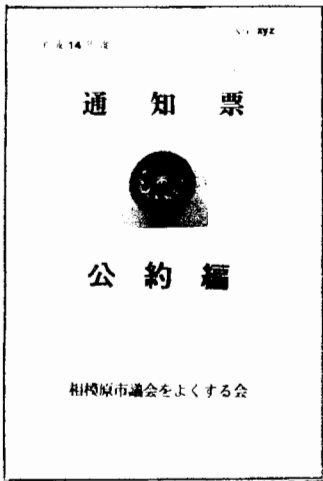
臨時特集号

常時傍聴者だから作れる

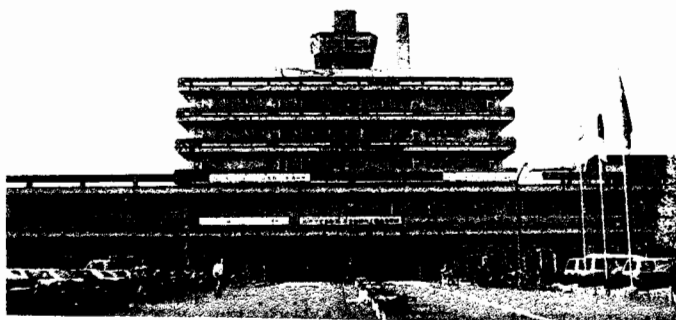
あなたの選んだ
46議員の『通信簿』
いっきよ公開！



公約はどうした？
説明・説得力は？
改革姿勢は？
意欲・態度は？
知識・調査力は？



中核市を誰に任せますか？
選ぶのはあなたです！



市議会がある相模原市庁舎全景

公約とは何か

公約で選んで よいか—NO!

ではどうする 答えは通信簿

「公約」とは公衆（有権者）に対する約束であり、一般には選挙に際して選挙管理委員会が発行・配布する「選挙公報」に掲載される候補者の約束である。従って有権者にとっては唯一重要な情報源となっている。2001年の参院選の明るい選挙推進協会の調査では有権者の24.5%が公報を実際に見、8.9%が誰に投票するかを決めるのに役立ったという。

結論から言っても、公約で選ぶことは危険である。46議員のうち、15名(33%)が任期中、一度も自分の公約を実現するために、一般質問で市側に訴えていない。うち3人は一般質問すらしていない！また13人(28%)はたった1回質問に取り上げただけ。比較的公約を意識していたのは8人(17%)にすぎない。すなわち、公約は全く当てにならない。公約を信じて投票することは余程慎重でなくてはならない。

公約が信じられなければ、議員の資質・適格性はどこで判断するのか。私たちは3年半に及ぶ市議会の監視活動を通して、46議員の議会での態度・言動、そして行政に対するチェック機能をどう発揮したかを、総合的に判断して「通信簿」を作成した。また公約や通信簿を併せ総評編として「総括コメント」を作成した。

この採点はいくまでも46議員の本会議、委員会そして市本庁舎内で、本会員が視聴した言論と、最近実施した議員アンケートの結果によるものであり、単なる風評や憶測によるものでないことをお断りしておきます。

公約採点基準

<質問回数ゼロ>

★

<質問回数1～3回>

公約に触れず=● ▲=公約に触れた(1回以上)

<質問回数4～6回>

公約に触れず=● ▲=公約に触れた(2回以下)
△=公約に触れた(3回以上)

<質問回数7～9回>

公約に触れず=● ▲=公約に触れた(2回以下)
△=公約に触れた(3回以上)
○=公約に触れた(6回以上)

<質問回数10～14回>

公約に触れず=● ▲=公約に触れた(4回以下)
△=公約に触れた(5回以上)
○=公約に触れた(6回以上)
◎=公約に触れた(9回以上)

<質問回数15回>

公約に触れず=● ▲=公約に触れた(4回以下)
△=公約に触れた(5回以上)
○=公約に触れた(8回以上)
◎=公約に触れた(10回以上)

印の見方....◎秀 ○優 △良 ▲可 ●不可 ★落第

「評価不能」=対象とする具体的公約無く評価できない。

どんな公約?

バス・交通システム推進	12人
バス無料バス制度実施	6人
学校・教育問題	6人
環境・産廃・ダイオキシン	
問題の解決	6人
学校給食実施	5人
基地返還促進	4人
航空機騒音解消	4人
地域活動拠点改善	4人
行政サービス向上	3人
産業振興対策	3人
医療費援助	3人
公共住宅建設促進	3人
その他テーマ	

(消費税、反戦、議員定数、情報公開、職員採用、バリアフリー、生涯教育、高齢者対策、介護保険、予防医学、ライフライン、行革、都市連携、駅前再開発、農業、他など)

★人数は複数議員が取り上げたものの合計になっています。





市議会議員46人の公約と一般質問の関係





1999(平成11)年当選後から2002(平成14)年まで、15回の議会の実績をみる

議員番号順・敬称略 議員名 (会派)	公約 (具体的ものだけ3点まで抽出)	評価	一般質問
秋山原宏 (護憲・ 市民派会議) 	具体的公約なし 「憲法をくらしに生かします」等は具体的とみませんでした。	(評価不能)	15回質問はしたが。
長谷川久美子 (護憲・ 市民派会議) 	①市民の税金の使途の行政による公開 ②無駄な公共事業の見直しと行政チェック機能の追求 ③政策を提案する議員活動	◎	15回質問。全回で公約①②③に沿った質問をした。
加藤明德 (公明党) 	①第2弾の地域振興券の実施 ②主要駅への行政の窓口サービス拠点設置 ③高齢者のバス無料制度の実施	●	5回質問。公約には全く触れず。
米山定克 (公明党) 	①医療費5歳児までの無料化 ②公民館に法律・行政などの相談室を設置 ③市内循環バスなどの交通対策推進	▲	6回質問。③を1回取り上げた。
松永千賀子 (共産党) 	①航空機爆音の解消と基地変換 ②老朽校舎の緊急改善と30人学級の計画的推進	○	14回質問。3回で①②を取り上げた。
田中武夫 (共産党) 	①消費税を3%に戻させる ②基地のない相模原 ③新がドライブにストップをかける	○	9回質問。7回で②③を取り上げた。
長友克洋 (民主党・ 自由党ク) 	①議員定数削減 ②ティンセンターの開設 ③情報公開制度の促進	○	14回質問。②③を各2~3回取り上げた。
寺崎雄介 (民主党・ 自由党ク) 	①議員定数削減と議会スタッフの充実による議会機能の向上 ②硬直化した職員の採用のあり方の再検討	●	14回質問。公約には全く触れず。
沼倉孝太 (市民クラブ) 	①子ども・お年寄りの地域活動の拠点確保	▲	5回質問。1回取り上げた。
久保田隼夫 (市民クラブ) 	①変化する世情に即応できる行政の体制づくり	●	4回質問。公約には全く触れず。

議員番号順 議員名 (会派)	公約 (具体的なものだけ抽出)	評価	一般質問
本間俊三  (市民クラブ)	具体的公約なし 「高齢者や障害者にやさしい街づくり」等は具体的とみませんでした。	(評価不能)	4回質問はしたが。
川田基晶  (市民クラブ)	具体的公約なし 「生涯にわたり、いきいきと健康で暮らせるまちづくり」は具体的とみませんでした。	(評価不能)	4回質問はしたが。
金子豊貴男  (社会民主党)	具体的公約なし 「環境・文化・福祉に全力」などは具体的とはみませんでした。	(評価不能)	14回質問はしたが。
吉塚賢一郎  (リベラル 相模原21)	①小田急線の相模原駅乗り入れ ②相模線の複線化 ③米軍基地の早期返還と市民利用の促進	▲	8回質問。①を1回取り上げた。
菅原康行  (公明党)	①乳幼児医療費の無料化を未就学児童までまで拡大 ②小・中学校のトイレの改善 ③横山丘陵のさらなる公園化	▲	7回質問。①を1回取り上げた。
関山由紀江  (公明党)	①全ての施設(歩道)をバリアフリーに ②バス停や歩道に椅子の設置 ③高齢者の住宅改善制度の新設	●	7回質問。公約には全く触れず。
藤井克彦  (日本共産党)	①バスの敬老無料バス制度の推進 ②幼稚園就園奨励補助の増額 ③米軍機爆音解消と基地全面返還	○	11回質問。4回で①③を取り上げた。
木村峰子  (日本共産党)	①市営住宅大量建設・高齢者住宅増設 ②子どもの医療無料化を6才未満まで ③中学昼食実施・幼稚園奨励金増額	▲	14回質問。②を1回取り上げた。
菅野通子  (日本共産党)	①バスの敬老無料乗車制度の実現 ②小・中学校完全給食 ③違法な野焼きや産廃処理の是正	●	3回質問。公約には全く触れず。
角尾彰央  (相政会)	①不登校児童・生徒の対策を確立 ②母親と高齢者の就学支援 ③ボランティア活動の支援策を推進	▲	3回質問。①を1回取り上げた。
落合芳平  (市民クラブ)	具体的公約なし 「みんなと仲良くできる子どもの育成」などは具体的とはみませんでした。	(評価不能)	3回質問はしたが。

議員番号順 議員名 (会派)	公約 (具体的なものだけ抽出)	評価	一般質問
佐藤賢司  (相政会)	①行政改革で市政運営・財政運営に厳しい助言 ②産業振興財団の充実強化など ③JR相模線の複線化	▲	1回質問。①を取り上げた。
石井千太郎  (市民クラブ)	具体的公約なし 「健康を増進させる市民スポーツの普及と振興」等は具体的とはみませんでした。	(評価不能)	2回質問はしたが。
山岸一雄  (市民クラブ)	具体的公約なし 「中核市指定を実現し、行政需要の増大に対処しうる体制の確立」は具体的とはみませんでした。	(評価不能)	1回質問はしたが。
細谷 隣  (市民クラブ)	①交通体系の整備と渋滞の解消	●	1回質問。公約には全く取り上げず。
由比昭男  (市民クラブ)	①新交通システムの導入	△	3回質問。2回公約を取り上げた。
武原祐子  (無所属)	①生活しやすい交通環境づくり ②地域福祉の助け合いシステムづくり	●	6回質問。公約には全く触れず。 (13年6月以降の在席議会を対象)
西村綾子  (無所属)	①ガイドライン戦争法案による自治体・民間への協力強制の不許可 ②介護の全額公費負担 ③消費税の廃止	◎	15回質問。14回①②を毎回取り上げた。
小林一郎  (公明党)	①未就学児まで医療費の無料化を拡大 ②段差や危険のない街づくり ③航空機爆音の解消と基地返還促進	●	5回質問。公約には全く触れず。
山田 弘  (公明党)	①基地の早期撤去と住民本位の跡地利用 ②予防医学の充実	●	2回質問。公約には全く触れず。
山下昌志  (相政会)	①新交通システムと16号線の混雑緩和解消等の整備促進 ②ライフライン施設の共同溝への整備促進 ③市営住宅の早期建設促進	▲	1回質問。②を取り上げた。
宮崎 昇  (相政会)	具体的公約なし 「豊かな都市づくり」等は具体的とみませんでした。	(評価不能)	2回質問はしたが。

議員番号順 議員名 (会派)	公約 (具体的なものだけ抽出)	評価	一般質問
 小俣 旭 (市民クラブ)	①中小企業融資制度の促進 ②物流団地建設の促進 ③JR番田駅の改修	▲	4回質問。①③を各1回取り上げた。
 折笠峰夫 (市民クラブ)	①航空機爆音の解消と基地返還	★	期間中、1回も質問せず。
 久保田義則 (市民クラブ)	①市北部地区の生活環境の整備	▲	2回質問。毎回公約を取り上げた。
 友成洋一 (社会民主党)	①基地全面返還の実現	●	3回質問。公約には全く触れず。
 寺山 猛 (リベラ相模原21)	①新交通システムの早期導入と交通渋滞の解消	★	期間中、1回も質問せず。
 山崎順二 (公明党)	①スクールセンターの常駐体制を全小・中学校に確立 ②中学校の完全給食の実施 ③シブバスの(無料)を推進	●	4回質問。公約には全く触れず。
 大上和夫 (公明党)	①徹底したダイリンシ削減対策の推進	△	4回質問。毎回公約を取り上げた。
 岸浪孝志 (相政会)	①地域ごとの文化スポーツ施設・小公園の拡充	●	4回質問。公約には全く触れず。
 川上一行 (相政会)	具体的公約なし 「人と自然に優しい美しい街づくり」等は具体的なものとみませんでした。	(評価不能)	4回質問はしたが。
 稲垣 稔 (相政会)	①市南部地域のまちづくりでJR相模線複線化と磯部駅設置促進 ②老人保健施設・地域コミュニティセンターの設置促進 ③新磯野・麻溝台のダイリンシ測定と無害化対策	▲	4回質問。①を1回取り上げた。

議員番号順 議員名 (会派)	公約 (具体的なものだけ抽出)	評価	一般質問
細谷達司  (相政会)	①新行革大綱を公正に推進 ②市の情報を分かりやすく公開	▲	3回質問。1回①を取り上げた。
今井 満  (相政会)	具体的公約なし 「心の通いあう明るい まちづくり」等は具体的 とはみませんでした。	(評価不能)	1回質問はしたが。
溝淵誠之  (市民クラブ)	①町田市との行政提携の推進 ②小中学校の空教室の開放 ③小田急相模原駅周辺の再開発	▲	4回質問。①②を各1回とりあげた。
河本文吉  (市民クラブ)	①都市農業の振興と地場産業の育成	★	期間中、1回も質問せず。

採点を終えて — 会員の言葉 —

市民の責任を 自覚した

赤倉昭男 (南台)

過去3年半、私は合計約140会議を傍聴した。行政のチェック度や市政への提言、態度等が監視のポイントだった。一票を投じた議員を有権者はなぜ放任しているのか。総じて言えば、46議員の大多数が市民の期待を裏切っている。極論すれば税金は無駄に使われている。涙をのんで辛い採点をしたが、それはある意味で私たち自身への採点でもある。選んだ市民の責任こそ問われるからだ。

素朴な市民感覚で 傍聴した結果を

篠田房枝 (陽光台)

「市議会をよくする会」と、かなり大仰な目標を掲げたこの会だったが、傍聴活動を通して、さまざまな仕組みを知りかつ、そこに潜む矛盾や数々の問題点も発見した。その一つ一つを素朴な市民感覚を大事にしながら、議会に時には行政に問題提起することで、市民にとって少しは身近なものにすることができたのではないかと思う。そんな思いで採点に臨んだ。

全体の奉仕者 しっかり仕事を

大野千恵子 (相武台団地)

質問することもなく、ただただ出席しているだけの議員がいる。議会以外で活動と言われても、議会で生かすことができなければ何もならない。後援会はチェックすべきで、損得で応援するのではない。税金から報酬を受け取る以上、選挙で選ばれても公務員と同じく“全体の奉仕者”だと思うから、しっかり仕事をしたい。「議員の資質を問われることは市民が問われていること」と肝に銘じて議員選出を！！

当選で4年安泰 — 議員の共通認識か

北代照明 (陽光台)

就職、市営住宅入居などの頼み事の時だけ議員の必要性を感じ、それ以外は議員の存在を意識しない市民。それが投票率の低さに表れる。同様、議員が市民の存在を意識するのは選挙の時だけ。一度当選すれば4年間は安泰。それが議員の共通認識だろう。勿論、これは大多数議員のことであり一部優秀な議員も居ることは書き加えておきたい。それにつけても、まずは前述したわれわれ市民の意識改革から始める必要がある。

通 信 簿

A, 十分満足できる B, おおむね満足できる C, 努力を要する D, 一層の努力を要する

議員番号 議員名 観点	1 秋山 原宏	2 長谷川 久美子	3 加藤 明德	4 米山 定克	5 松永 千賀子	6 田中 武夫	7 長友 克洋	8 寺崎 雄介	9 沼倉 孝太	10 久保田 隼夫
説明・説得力	B	A	C	C	A	B	B	A	D	C
改革姿勢	A	A	C	C	A	A	A	A	C	C
意欲・態度	C	A	C	C	A	B	B	B	C	C
知識・調査力	B	A	C	C	A	A	B	B	D	C

議員番号 議員名 観点	11 本間 俊三	12 川田 基晶	13 金子 豊貴男	14 吉塚 賢一郎	15 菅原 康行	16 関山 由紀江	17 藤井 克彦	18 木村 峰子	19 菅野 通子	20 角尾 彰央
説明・説得力	C	D	B	C	D	C	A	B	A	C
改革姿勢	C	C	C	C	D	C	A	A	B	C
意欲・態度	D	D	C	D	C	C	A	C	B	C
知識・調査力	C	C	A	C	C	C	A	B	A	C

議員番号 議員名 観点	21 落合 芳平	22 小俣 旭	23 折笠 峰夫	24 久保田 義則	25 友成 洋一	26 寺山 猛	27 山崎 順二	28 大上 和夫	29 岸浪 孝志	30 川上 一行
説明・説得力	C	D	C	C	C	C	C	C	C	C
改革姿勢	B	C	D	C	C	C	C	C	C	C
意欲・態度	C	C	D	C	D	D	C	C	C	C
知識・調査力	C	D	C	C	C	C	C	B	C	C

議員番号 議員名 観点	31 稲垣 稔	32 佐藤 賢司	33 石井 千太郎	34 山岸 一雄	35 細谷 隣	36 由比 昭男	37 武原 祐子	38 西村 綾子	39 小林 一郎	40 山田 弘
説明・説得力	B	A	C	C	C	C	B	B	C	C
改革姿勢	C	C	D	D	C	C	C	A	C	D
意欲・態度	C	B	D	C	C	D	B	A	C	C
知識・調査力	C	B	C	C	C	C	B	A	C	C

議員番号 議員名 観点	41 山下 昌志	43 宮崎 昇	44 細谷 達司	45 今井 満	46 溝渕 誠之	47 河本 文吉
説明・説得力	B	A	C	C	B	D
改革姿勢	C	B	C	C	B	D
意欲・態度	C	A	C	D	B	C
知識・調査力	C	A	C	C	B	D



⑤ 相模原市議会では、
欠番42は不吉故使っていない。

■通信簿はこうして作成した■

1. 採点者..... 「相模原市議会をよくする会」のメンバーのうち、過去3年半にわたり本会議、常任委員会、議会運営委員会を各定例会で必ず数日傍聴し、各議員の議会活動をよく知る者。
2. 採点法..... まず、議員活動を行う上で必要不可欠な資質について、4つの観点を項目にした。各議員について、各採点者がそれぞれの観点別にA～Dの4段階で採点した。次いで、個々の採点を示しあい、最も多い採点を採用し、同点になった場合は、公約努力度や一般質問回数などを勘案して、全員の協議で慎重に決定した。
3. 各項目の説明.... 「説明・説得力」=委員会での質疑の際の質問の分かりよさ、本会議での提案や批判の納得性の度合いなど。また声の大きさ、言葉の選択、明瞭さなども対象。
 - 「改革姿勢」 =主に本会が行ってきた各種の議会改革の提案や陳情に対する対応の仕方。また一般質問内容や議案審査における発言、市長・市政に対する基本姿勢をみた。
 - 「意欲・態度」 =一般質問回数、委員会での発言回数、居眠り・私語・離席の回数、本会議での他議員の演説への関心姿勢、言葉づかい、などについて評価。
 - 「知識・調査力」 =総括質疑・一般質問・委員会質疑などの発言が豊富な知識や独自調査に基づいているものか、単にマスコミ報道や又聞き・噂などによるものか、さらに後援会の声の伝言に過ぎないのか、政務調査費の使用が生かされているか、などが問われた。 ■

際立つ点差 — 採点は迷い無く

- 「十分に満足出来る」(A)と「一層の努力を要する」(D)議員のグループ分けをすると、その対比が鮮明になった。採点者の見方が一致するケースが極めて多かった。

説明・説得力	A → 長谷川久美子、松永千賀子、寺崎雄介、菅野通子、佐藤賢司、宮崎昇 D → 沼倉孝太、川田基晶、菅原康行、小俣旭、河本文吉
改革姿勢	A → 秋山原宏、長谷川久美子、松永千賀子、田中武夫、長友克洋、寺崎雄介、藤井克彦、木村峰子、西村綾子 D → 本間俊三、菅原康行、折笠峰夫、石井千太郎、山岸一雄、山田弘、河本文吉
意欲・態度	A → 長谷川久美子、松永千賀子、藤井克彦、西村綾子、宮崎昇 D → 川田基晶、吉塚賢一郎、折笠峰夫、友成洋一、寺山猛、石井千太郎、由比昭男、今井満
知識・調査力	A → 長谷川久美子、松永千賀子、田中武夫、金子豊貴男、藤井克彦、菅野通子、西村綾子、宮崎昇 D → 沼倉孝太、小俣旭、河本文吉

通信簿・総評編

議員名 (数字は議員番号) 総括コメント

1. 秋山 原宏 → 市政批判・改革姿勢は旺盛だが会議中の居眠りで相殺される評価。
2. 長谷川久美子 → 行政の追求と明確な主張、説得力は抜群。議場の緊張を惹起する。
3. 加藤 明德 → 第2弾の地域振興券を公約に掲げるなど政治センスに疑問符。
4. 米山 定克 → 会派お仕着せのテーマの一般質問などで特徴なく、存在感が薄い。
5. 松永千賀子 → 委員会等での発言も活発、緻密な議論の組み立ては理事者泣かせ。
6. 田中 武夫 → 本会議の演説でも与野党から好意的に傾聴されるが迫力に欠ける。
7. 長友 克洋 → 自己主張が明確。若手世代として議会改革の実現に一層の努力を。
8. 寺崎 雄介 → 最年少議員だが存在感あり。提案型の一般質問は傾聴に値する。
9. 沼倉 孝太 → 一般質問の棒読みの後、2問目が出来ない等、基礎的資質に疑問。
10. 久保田隼夫 → 議場、委員会での発言も注目するものなく、最も印象の薄い議員。
11. 本間 俊三 → 最も保守的な考えを持ち、議会改革への抵抗勢力の一端を担う。
12. 川田 基晶 → 議会運営委員長ながら指導力なく検討事項の処理に手間取る始末。
13. 金子豊貴男 → 基地問題の専門家を自認するが、議会の改革姿勢には期待はずれ。
14. 吉塚賢一郎 → 会派名のリベラルに程遠い政治姿勢で、居眠りばかりが目立つ。
15. 菅原 康行 → 自己の主張無く、委員会では「市民クラブと同じ」を繰り返す。
16. 関山由紀江 → 女性議員6人中最も存在感が薄い。会派の活動に専念してるのか。
17. 藤井 克彦 → 調査能力は抜群。多数派の意見にもめげず道理を貫く論客。
18. 木村 峰子 → 市民の代弁者らしい経験豊かな議員だが、やや疲労感を漂わせる。
19. 菅野 通子 → 教育の議論は傾聴できる。副議長経験後は与党への気配りが過剰。
20. 角尾 彰央 → 会派内の新人だが、若手らしい存在感を示す言論が少ない。
21. 落合 芳平 → 本来の改革姿勢が発揮できない会派に属し、価値が薄らいでいる。
22. 小俣 旭 → 本会議の質問で同僚議員の笑いを取るが、内容はいま一つの評価。
23. 折笠 峰夫 → 分かりやすい語り口ながら、内容は暴言・妄言の連発で響き買わない。
24. 久保田義則 → 議員ながら、議員席で傍聴者を演じる日々。私語の震源地。
25. 友成 洋一 → 教育族を自認しながら、傲慢・不遜な態度は議員の反面教師か。
26. 寺山 猛 → 5期連続トップ当選に安住してか、議案の不勉強さが目に余る。
27. 山崎 順二 → 可もなく不可もない会派要員。個性が出し切れない議員の典型。
28. 大上 和夫 → 委員会の質疑のきめ細さは身上だが、問題追求の鋭さが無い。
29. 岸浪 孝志 → 捉えどころのない議員だが、プライドの高さだけが見え隠れする。
30. 川上 一行 → 勉強や意欲に欠けながら、議員特有の特権意識だけは高い。
31. 稲垣 稔 → 委員会の質疑でも事項の再確認が多く、市側には有り難い存在。
32. 佐藤 賢司 → 問題把握も的確、簡潔明瞭な発言。積極的な改革姿勢が欲しい。
33. 石井千太郎 → 議長の資質が問題視されている。判断、采配の能力が問われる。
34. 山岸 一雄 → 短くない議会経験ながら改革意欲なく、議会の停滞を招いた。
35. 細谷 隣 → 最大会派に属しながら、議会での声が全く聞けない議員のひとり。
36. 由比 昭男 → 最大会派の責任者で30年近い在籍議員ながら存在感がいま一つ。
37. 武原 祐子 → 生活者の代表といいながら、市長提案には殆ど賛成する与党議員。
38. 西村 綾子 → 戦争反対・福祉など熱心だが、追求にはテーマを絞る工夫が必要。
39. 小林 一郎 → 会派のベテランだが、賛成与党にあって議会での存在感がない。
40. 山田 弘 → 現副議長。改革意欲が低く議会活性化を阻む議長との共同責任者。
41. 山下 昌志 → 議会内での影響力はあるが、保守体質が議会の発展を阻んでいる。
42. 宮崎 昇 → 知識・見識に富み、行政へのチェック機能を果たす論客のひとり。
43. 細谷 達司 → 長老格ながら情性で議員を勤めてるのか、実声が全然聞こえない。
44. 今井 満 → 時折、時代錯誤な言論をなす。市側が安堵する議員のひとり。
45. 溝淵 誠之 → 超ベテラン議員のひとりだが時に市長を叱責するなど意欲は残る。
46. 河本 文吉 → 農業のプロを自認するも、一般質問は一切せず疑問の残る議員。

採点を終えて — 会員の言葉 —

低い評価に驚き 甘めにやり直した 中澤興平（相模大野）

①市民の代弁度 ②行政のチェック度 ③発言数・内容、欠席離席、居眠り、おしゃべり、読書等さぼり。3つを重点に評価した。低い評価に驚きやり直した。甘めに。会派別では護憲、共産、無所属が良く、民自クがまあまあ。市民ク、相政、公明、ハル、社民が悪かった。多数会派は己の役割は賛成反対要員、市民提案（請願陳情）などは数の力で却下「みんなで渡ればこわくない」を感じた。会議中はおとなしく、ディベート、議員提案、追求は少なく、また政務調査費の内容効果、議会外活動の具体性に欠け評価に苦慮した。次は市長、議長、委員長の評価もしたい。

創意と工夫で 民主的な議会を 中山貞望（富士見）

市議会の本会議代表質疑、各種委員会での質問、意見など各議員の発言を傍聴した結果の印象を初めて通信簿風に評価を試みたものだが、各議員を観察したわれわれ傍聴者の累積した印象には大きな差異がなかった。市民としては評価の高い議員は切磋琢磨を、評価の低い議員は反省と改善を期待したい。また会派に縛られることなく、議員各位がその創意と工夫によって独自の特徴を発揮してもらい、多くの市民のための民主的な議会と行政を作ってほしいという願いがこめられていることを理解してほしいと思う。

傍聴の総決算 評価の公表必要 大林トヨ子（大山町）

議会の傍聴を始めてこの方、議員の責務とは何かを問い続けてきた。この間市民と議会のギャップの大きさ、深さを痛感した。3年余りの傍聴の総決算を評価し公表する必要性を感じた。市民が選んだ議員が議場で本当に真剣に己の人格をかけて論戦を張っているかと言えば、大方の議員は会派の陰に隠れて適当にやっているとしか思えない。その結果が数値として表れたことが面白い。市民の皆さんには是非責任をもって一票を投じ、そして傍聴してもらいたい。

市民の声に耳を— 議論が足りない 飯田順朗（上溝）

市議会は市民に信託された議員で構成されている。透明で活発な議論をしてほしい。請願陳情は市民が直接市政に参加できる民主的な仕組みだ。少数意見が真に正しい事もある。議員は市民の考えによく耳を傾ければ、より問題を理解できるようになるはずだ。それなのに、ろくに質疑・討論もせず不採択にすることが多すぎる。そういう観点からも採点は行ったつもりだ。議会や行政に関わる全員の業務の改善向上への意欲も求めたいと思う。

ひどい公約無視 会派がゆがめる 議会 浅賀きみ江（東橋本）

市議会は自治体の立法府。市政の課題を市民の代弁者として、公開の場で深く審議し尽くし採決していく役割がある。それを会派（徒党）を組み、数の力で議会運営上有利に立ち回るポジションを確保し、根回しを政治力と勘違いし、「議会民主主義」の成熟を阻害している。バツと選挙民さえ握れば、小泉流「公約なんて大したことはない」のか。公約無視は予想を越えるひどさだった。

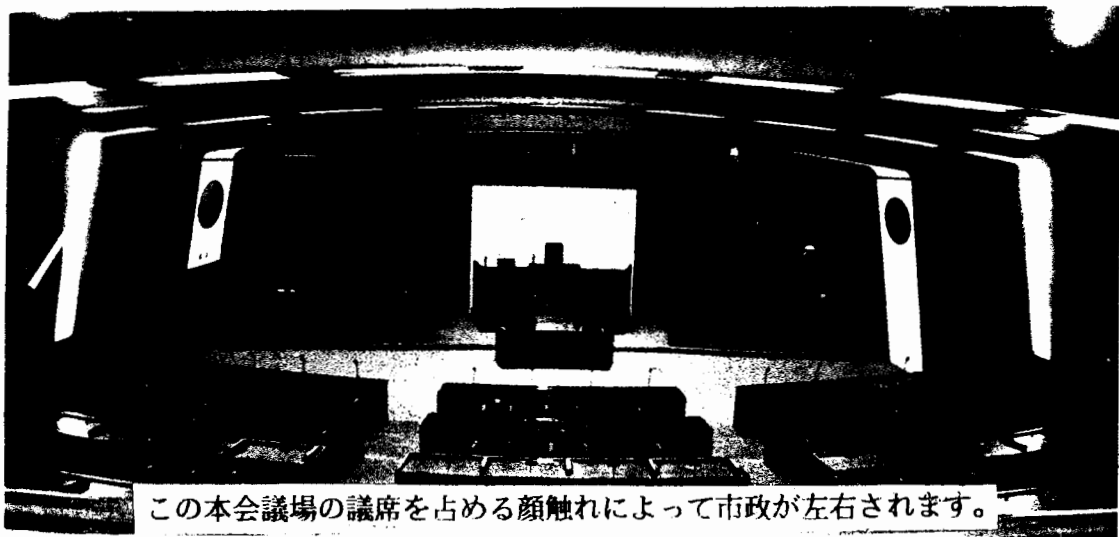
■ 読者の皆様へ ■

— 臨時特集号発行について —

本号における採点は、あくまでも本会の基本姿勢である「不偏不党・中立」の立場で実施し、特定の議員の選挙での当落を目的としたものではありません。あくまでも現任期中の実績を評価したものです。公職についての議員の成績評価は有権者の義務であり、公表は傍聴者のみが知りうる情報提供であり、また義務でもあります。議会発行の議会だよりが議員個々の情報を有権者に提供しないかぎり本会のこの役割は放棄できません。相模原市議会をよくする会



©SAGAMIHARA SHIGIKAIWO YOKUSURUKAI
許可無く転載・複製を禁じます。



この本会議場の議席を占める顔触れによって市政が左右されます。

□問い合わせ先□ 相模原市議会をよくする会（代表・赤倉昭男）
〒228-0814 相模原市南台5-13-8 ☎042-749-9140